

法華寺だより



開山上人法要会

本樹院日果上人は、明治四十三年四月に帯広に下向。マサブキの粗末な小屋の説教所を拠点に熱心な布教活動に努められ、大正六年には本堂・庫裏等が完成。同十一年に念願の大正山法華寺の寺号認可も得ました。

この開山上人の活躍を支えたのは、熱心な多数の信徒と共に叔父の内山孝太郎翁とハツ夫人が果たした役割は非常に大きい

開山上人を招いたのが叔父の内山孝太郎翁。市内大通り六丁目で金物商を営む熱心な法華経信者で、講社だけでなく一寺設立を願う具体的な活動を長年続けた。寺院敷地も確保し、開山上人に熱心に働きかけついに招聘に成功。その後財政援助に努め揺るぎない基盤形成に貢献されました。

南無妙法蓮華經

日蓮宗のお経は 方便品

ほうべんぼん
その四
舍利弗

しゅようごんしむりようむへん みぞうほう
取要言之 無量無辺 未曾有法
ぶつじつじようじゆししやりほつ ふしゆぶせつ
仏悉成就 止 舍利弗 不須復説
しよいしやが ぶつしよじようじゆだいいちけう
所以者何 仏所成就 第一希有
なんげしほう ゆいぶつよぶつ ないのうくじん
難解之法 唯仏与仏 乃能究甚

【現代語意識】

舍利弗よ、これまで述べてきた要点を言うと、計り知れなくしかも今までかつてない教えを仏は成し遂げているのです。やめましょう、舍利弗さん。これ以上説くべきで無いでしょう。なぜなら仏が成し遂げた事柄は、理解しがたい教えなのです。仏の境地に有る者だけが、一切のものの在り方のままの真実の姿を極みつくせるのです。

知っていますか？
この言葉の意味

『無量無辺』

(むりようむへん)
計り知れないほど多い

『未曾有』(みぞう)

今までにない

あなたも心掛けている 六波羅蜜その③

その(二) 持戒に努める

つつしみ(慎む、謹む)
本文を忘れずにルールを守った生き方、自分勝手に生きるのを無く、互いに相手のことを思いやり思いやりながら譲り合っていく生活

その(三) 忍辱に努める

悲しいことや辛いことがあっても、過度に落ち込まないで頑張る。物事の本質を押さえ、時には犠牲的精神を持って困難に耐える

南無妙法蓮華經

『須』(しゆ、す)
すべからず、

『究尽』(くじん)

(諸法の実相を) 極め尽くす

合掌



ご案内

五月

六日 開山上人法要
十二日 日蓮聖人降誕八百年慶讃
北海道大会(札幌)
※十一月に延期されました

六月

十三日 行学会、境内清掃
十八日 行学院日朝上人会

心といのちの相談所
老若男女幾つになっても悩
みや心配事の絶えないも
の

……() 来所やお電話を……

今月の聖語

らんしつ
蘭室の

とも
友に交わり

まほ さが
麻畝の性と成る

【環境が第二】

蘭が置かれた部屋に入ると、その香りが気付かぬうちに身にしみて自分も良い香りとなります。
私達も同じ事、善い環境に身を置くことで自然と立派な人格を備えるようになるのです

〔立正安国論〕より〕

日蓮聖人御遺文

覚書 四月

八日 釈尊成道会
十三日 婦人会総会
二十四日 帯刑教誨



一 休 み

●「日蓮宗信行読本」より（拾い読み）●
第八章 明るく楽しく暮らすために

1、「損して得（徳）取れ」

「……お金というものは、仏さまのため、他人のために施せば必ずその功德によつて生きている。だからあなたもこれから僧侶として生きていくならば、お金がない、お金がないと言わない方がよい。それは自分に徳がない、他人のために尽くしたことがない、と言っているようなものだから」と師匠から説かれたことを覚えておきます。

ある日、知り合いの家の方から「家のお婆さんは作った野菜を市場に出し、代金は全部自分の懐に入れまです。でも生活費は全部私達に出させるのです」と愚痴を言います。後日お婆さんにそれとなく聞いてみる

と 奉仕に 感

☆布薩会と婦人会様 法会等の諸準備ご苦勞様です
☆☆☆☆

法華經名句 私撰

（安樂行品第十四） その2

ふせつたにん 好悪長短
おしやうもんじん 於聲聞人

やくふ 亦不稱名

せつごかあく 説其過惡

松本慈恵師の解説参照

他人の善し悪し、短所長所をあげつらうこと無いように。聲聞の人に対してまた名を挙げてその人の過失や悪いところをあげつらうことが無いように。他人を批判してしまいがちだが、そのような思い上がりの心を捨てなさい



と、「私が死んだ後、息子達に少しでもお金を残しておいてやりたい」のだと言います。それで私は「お嫁さんにお金を渡すのは少し癪に障るかもしれないが、でも喜んでもらいたい大事にして貰った方がよいのでないですか。今のままならケチなお婆さんだと言われかねませんよ」と話したものです。
少し損する（譲る）気になれば、皆に喜んでもらい幸せな家庭が生まれると思いませんか。

皆さんもこのような布施（施しの心）を行っていらっしゃると思います。与える物やお金があなくても、心の底から微笑むだけでも良いのです。

参照 引用

- ※日蓮聖人聖語カレンダー
- ※「日蓮宗のお経」
- ※「法華經名句辞典」松本慈恵
- ※日蓮宗新聞 その他

編集後記

◆科学技術と経済の発展は人々に多様な恩恵をもたらした◆しかし、未知の事柄も数多い◆新型コロナウィルスもその一つ◆とにかく小さい◆光学顕微鏡では駄目で電子顕微鏡でないと見えない◆ご存じのようにインフルエンザもコロナウィルスの一種◆ワクチンや治療薬が望まれる ◆山崎記◆